

明治大学創立者

宮城浩蔵写真展

History of The MIYAGI Kozo

会 期	2006年7月11日(火)～7月15日(土)
時 間	10:00～19:00
会 場	天童市立図書館
主 催	明治大学史資料センター
後 援	天童市教育委員会

明治大学の前身である明治法律学校は、1881(明治14)年1月17日、現在の東京都千代田区有楽町の地に開校しました。その中心となったのが、天童藩出身の宮城浩蔵先生、鳥取藩出身の岸本辰雄先生、鯖江藩出身の矢代操先生でした。

本展示では、宮城浩蔵先生にスポットを当てつつ、同時に明治期の明治大学の歴史についても紹介します。

宮城浩蔵先生は、1852(嘉永5)年4月15日に天童藩士武田(直道)玄々の次男として天童の自宅に生まれ、のち、宮城家へ養子として入りました。

藩の選抜生として司法省法学校で学びましたが、同級生には、岸本辰雄先生と矢代操先生がいました。同校卒業後、成績優秀によりフランスへ留学、帰国後は検事、司法省参事官等を歴任、さらに1890(明治23)年には、衆議院議員選挙に当選、2期代議士としても活躍しました。

1893(明治26)年没。行年満41歳でした。

展示写真リスト

展示資料の解説です。敬称は省略しています。

青年時代

1 宮城浩蔵肖像（明治中期）

宮城浩蔵は、1852（嘉永5）年4月15日に天童藩士武田直道（玄々）の次男として天童の自宅に生まれ、のち、宮城家へ養子として入りました。

2 元天童御陣屋絵図面

天童陣屋の図面です。写真下部に宮城家が見えます。

3 入塾願い

宮城浩蔵は、1870（明治3）年10月、箕作麟祥（貞一郎）の共学社に入塾し、洋学を学びました。そのころ、藩の選抜生である貢進生に選ばれると、大学南校（東京大学の前身）に進みました。

4 司法省法学校時代の集合写真（明治初期）

1872（明治5）年8月、宮城浩蔵（前列左端）は司法省に新設された法学校生徒に選ばれます。同校には、岸本辰雄や矢代操をはじめ、のち明治法律学校に関係する人物が多数在籍していました。

5 ボワソナード肖像（明治期）

司法省法学校時代の宮城浩蔵は、司法省のお雇外国人であるボワソナードやブスケから、フランス法学を学びました。

6 フランス留学中の学籍簿（1876・明治9年）

岸本辰雄とともにパリ大学に学んだ宮城浩蔵は、成績も優秀でした。のちに、リヨン大学に移りました。

7 西園寺公望肖像（明治期）

宮城浩蔵と西園寺公望とは、留学先のフランスで親交を深めました。西園寺はその関係から、明治法律学校の創立に加わり、はじめての非常勤講師として教鞭も執りました。のちには、明治法律学校の名誉顧問となり、永く学園を支えました。

明治法律学校の創立者として

8 明治法律学校設立ノ趣旨（1881・明治14年）

明治法律学校を開校する意義を述べています。この資料で注目すべきは、法学を学ぶ意義に「権利自由」を述べている点です。このことばは、明治大学建学の精神のひとつでもあります。

9 開校当初の明治法律学校想像図（1956・昭和31年制作）

明治法律学校は、1881（明治14）年1月17日、現在の東京都千代田区有楽町、旧島原藩上屋敷の一部を借り受け開校しました。この絵は、第1回卒業生らの座談会をもとに制作されたものです。

10 創立者デザインパネル（2001・平成13年制作）

このパネルは、明治法律学校設立趣旨書と創立者3名の肖像を組み合わせてデザインしたものです。創立120周年記念展覧会の絵葉書やポスター等に使用しました。

11 ニコライ堂から見た南甲賀町校舎（1891・明治24年）

1886（明治19）年12月、明治法律学校は学生増により、それまでの有楽町から、文教の地・神田駿河台の南甲賀町に移転しました。現在の明治大学駿河台キャンパス・リバティタワー向かいの場所です。

12 判事登用試験合格記念写真（1884・明治17年）

明治法律学校での教育は非常に厳しいものであったために、司法試験などでは多くの合格者を輩出しました。この写真は、1884（明治17）年の判事登用試験合格記念ですが、宮城浩蔵（中列右から3人目）のほかに、岸本辰雄（後列左から2人目）、矢代操（中列1番左）らが写っています。

13 「決議録」（1888・明治21年）

この校員会は、現在で言えば理事会と教授会を兼ねたようなものでした。つまり、宮城浩蔵をはじめとした草創期の学園を支えた人物は、経営者であり、教育者であったわけです。

14 宮城浩蔵旧宅跡地（東郷元帥記念公園）（2006・平成18年撮影）

明治法律学校開校時の宮城浩蔵宅は、JR市ヶ谷駅に近い所にあったが、現在は東郷元帥記念公園となっています。

宮城浩蔵の業績

15 『刑法正義』

宮城浩蔵は、法学全般に通じていましたが、とくに「東洋のオルトラン（オルトランはフランスの有名な刑法学者）」と称されるほど、刑法論を得意としていました。

16 『改訂増補民事訴訟法正義』

宮城浩蔵の遺著である『改訂増補民事訴訟法正義』は、岸本辰雄の「訂補」により、学内の出版部局から刊行されました。

17 第1回衆議院錦絵

資料は、日本において初めて国会が開催された1890（明治23）年の第1議会のような様子を描いたものです。「山形県」の所に「宮城浩蔵」の名前が見えます。

18 宮城浩蔵着用の服（明治期）

宮城浩蔵着用の洋服です。

19 佐々木忠蔵肖像

山形県師範学校を卒業後、天童小学校に勤務したが退職。宮城浩蔵を慕って上京、明治法律学校に入学すると、法律を学ぶ傍ら、宮城の選挙活動を支えました。同校卒業後は官吏として活躍しますが、のち郷里に戻って天童尋常高等小学校校長などを務めました。

宮城浩蔵の死と、その精神の継承

20 宮城浩蔵墓所

宮城浩蔵は、東京都台東区谷中にあるこの地で眠っています。

21 訃報（1893・明治26年）

宮城浩蔵の死を伝える記事には、大学や郷土において親交のあった人々の名前が列記されています。

22 宮城浩蔵君碑

中江兆民撰、西園寺公望筆によるこの顕彰碑は、山形市内の千歳公園内に建っています。

23 3代目（旧）記念館（1928・昭和3年）

明治大学のシンボル校舎である3代目（旧）記念館が竣工したのは、1928（昭和3）年です。このとき、復興（1923年の関東大震災で被害を受けた校舎の復興）記念式典が催され、宮城浩蔵は功労者として表彰されています。

24 現在の駿河台キャンパス（2004・平成16年撮影）

明治大学の駿河台キャンパスには、創立者の精神や建学の理念が継承されています。例えば、「自由」を標榜するリバティタワーの最上階には、宮城浩蔵ら創立者の肖像画が飾られています。

25 宮城浩蔵胸像（2006・平成18年撮影）

この胸像は、岸本辰雄・矢代操の胸像とともに、リバティタワー陽だまり広場に立っていて、学生たちを見守っています。

26 宮城浩蔵年譜（参考）

【編集・発行】 明治大学史資料センター事務局

〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1

TEL 03-3296-4329 FAX 03-3296-4086

明治大学史資料センターURL <http://www.meiji.ac.jp/history/>

【発行日】 2006年7月11日

【印刷】 二葉印刷有限公司